



新たな公共交通ネットワークの実現に向けて

本市では、都市機能が集積する中心市街地を中心に鉄道、バス、タクシーなどの公共交通が相互に連携した、効率的な公共交通ネットワークを目指し、さまざまな取り組みを行っています。

1 都市部に一大交通拠点をつくります

近鉄四日市駅周辺などの整備

2027年のリニア中央新幹線(東京一名古屋間)の開通に合わせて、近鉄四日市駅からJR四日市駅にかけてバスターミナルの整備を含めた中央通りの再編に取り組んでいます。

- ①現在、三つに分かれているバス乗り場を、近鉄四日市駅東側に集約し、鉄道駅と歩行者デッキで直結したバスターミナルに再編します
- ②近鉄四日市駅—JR四日市駅間の歩行者空間を広げ、居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかを形成します
- ③沿道に図書館をはじめとした都市機能を集め、にぎわいのあるまちなかをつくります

2 郊外部の公共交通を守ります

乗り継ぎ拠点と支線交通の整備

本市では、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、市の郊外部に乗り継ぎ拠点を整備しています。その第一弾として、令和2年2月にイオンタウン四日市泊の敷地内にバス停留所を移設し、路線バスの乗り入れを開始しました。

令和2年10月からは、このバス停を経由する支線バス「こにゅうどうくんライナー」の運行を市と三重交通が共同で開始しました。乗り継ぎ拠点の整備と合わせてバス路線の支線化を行うのは、県内初の試みです。

●こにゅうどうくんライナーのルート

県立総合医療センター～イオンタウン四日市泊～
四日市南部医療モール(貝家町地内)～小山田病院



イオンタウン四日市泊の乗り継ぎ拠点 こにゅうどうくんライナー



※画像はイメージです

デマンド交通

公共交通不便地域における交通手段を確保するため、平成29年度からタクシーを活用したデマンド交通の社会実験を行ってきました。現在、実現化に向けた検討を進めています。

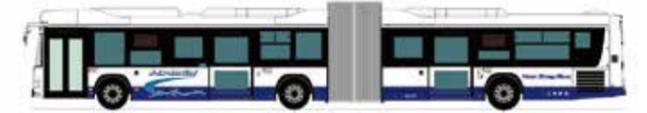
※デマンド交通:予約に応じて運行する輸送サービス



3 公共交通の利用しやすい環境をつくります

連節バス導入

運転手不足の解消や大量輸送による渋滞の緩和、CO₂の削減を図るため、三岐鉄道では、2台分の車体がつながっている連節バスの導入を予定しています。現在、関係者間で導入に向けた調整が進められており、令和2年12月4日・5日には、近鉄富田駅～キオクシア間で試走を行いました。早ければ、令和3年秋ごろに導入される予定です。



※画像はイメージです

駅前広場整備

マイカーによる送迎やバス・自転車からの乗り換えが効率的に行えるよう、四日市あすなろう鉄道の西日野駅と内部駅、近鉄名古屋線の霞ヶ浦駅では、駅前広場などの整備を進めています。また、近鉄富田駅東側の駐輪場増設や阿倉川駅の駅前広場の整備を計画しています。



西日野駅

交通系ICカードシステムを導入

公共交通が利用しやすいように、「三重とこわか国体・三重とこわか大会(令和3年9月開催)」までに、四日市あすなろう鉄道に、交通系ICカードシステムを導入します。

非接触型のサービスを実現し、「withコロナ時代」に選ばれる鉄道となるよう、対策を進めていきますので、ぜひご利用ください。



※画像はイメージです

～安心して公共交通を利用してください～

各公共交通事業者は、新型コロナウイルス感染症予防の取り組みを徹底しています。

公共交通の安全な乗り方

- マスクを着用し、
会話は控えめに
- 車内換気へのご理解・ご協力を
- 混雑時を避けた
時間帯でのご利用を



車内の抗ウイルス・抗菌処理



車内の定期消毒

●この記事についてのお問い合わせ・ご意見は

公共交通推進室 ☎354-8095 FAX354-8404